

## 【1.製品及び会社情報】

製品名 : N3000/N3500/N3600シリーズ ドラムユニット 用 現像剤 (マゼンタ)  
: N30-DSM、N30-DSM-Y  
機種名 : N3000/N3500/N3600シリーズ  
会社名 : カシオ計算機株式会社  
住所 : 〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2  
連絡部門 : カシオテクノコンタクトセンター  
電話番号 : 0120-667022  
緊急連絡先 : 同上  
電話番号 : 同上  
MSDS整理番号 : SDS-No.0277-02

## 【2.危険有害性の要約】

## GHS分類

## 物理化学的危険性

火薬類 : 区分外  
可燃性・引火性ガス : 分類対象外  
可燃性・引火性エアゾール : 分類対象外  
支燃性・酸化性ガス : 分類対象外  
高压ガス : 分類対象外  
引火性液体 : 分類対象外  
可燃性固体 : 区分外  
自己反応性化学品 : 区分外  
自然発火性液体 : 分類対象外  
自然発火性固体 : 区分外  
自己発熱性化学品 : 区分外  
水反応可燃性化学品 : 区分外  
酸化性液体 : 分類対象外  
酸化性固体 : 区分外  
有機過酸化物 : 区分外  
有機腐食性物質 : 区分外

## 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5又は区分外  
急性毒性(経皮) : 分類できない  
急性毒性(吸入) : 分類できない  
皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない  
眼に対する重篤な損傷・眼球刺激性 : 分類できない  
呼吸器感作性 : 分類できない  
皮膚感作性 : 分類できない  
生殖細胞変異原性 : 区分外  
発がん性 : 分類できない  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
吸引性呼吸器有害性 : 分類対象外

## 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 分類できない  
水生環境慢性有害性 : 分類できない  
オゾン層への有害性 : 区分外

## 【3.組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

成分	含有量(wt%)	官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	CAS Registry No.
ポリエステル樹脂	80-90	7-713	117581-13-2
芳香族炭化水素樹脂	5-15	6-121	9011-11-4
エステルワックス	5-15	11-4-90	8015-86-9
赤色顔料	<5	4-1074	67990-05-0
非結晶シリカ	<5	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	<1	1-558	13463-67-7
酸化アルミニウム	<5	1-23	1344-28-1
その他	<5	(5)-6476 / 7-(4)-918	114803-11-1

危険有害性成分 : 無し

## 【4.応急措置】

吸入した場合	: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 多量の水及び石けんで洗い流し、症状がでた場合等、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 直ちにまぶたを開いて、流水で15分以上洗浄する。症状がでた場合等、必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませて、医師の処置を受ける。 被災者の意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。

## 【5.火災時の措置】

消火剤	: 水噴霧、粉末消火薬剤 ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。
使ってはならない消火剤	: 情報なし
火災時の特定危険有害性	: 空気中に粒子が飛散した場合、爆発的に燃焼する可能性がある。
特定の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## 【6.漏出時の措置】

人体に対する注意事項	: 作業には、必ず保護具(手袋、保護眼鏡、防塵マスク等)を着用する。 多量の場合、人を安全に待避させる。 必要に応じた換気を確保する。 風上から作業する。
環境に対する注意事項	: 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
回収・中和	: 床面にこぼれた場合には、直ちに真空掃除機で吸い取る。又はウエス等で拭き取る。

## 【7.取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い 技術的対策	: 取り扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。 飛散しやすい粉末の為、吸い込んだりしないように、風上から作業するようにする。
局所排気・全体換気	: 作業場の換気を充分に行う。
注意事項	: 粉塵を吸引してはならない。
安全取り扱い注意事項	: 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。 取り扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。 粉塵の発生を避ける。
保管 適切な保管条件	: 密栓した容器に保管する。 直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。
安全な容器包装材料	: 情報なし

## 【8.暴露防止及び保護措置】

設備対策	: 取り扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。 適切な排気換気装置を使用する。
管理濃度	: 労働安全衛生法 設定されていない
許容濃度	: 日本産業衛生学会 (2009年度版) [第3種粉塵] 2mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉塵) 8mg/m <sup>3</sup> (総粉塵)
	: ACGIH (2010年度版) [粒子状物質] 3mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉塵) 10mg/m <sup>3</sup> (総粉塵)
保護具 呼吸器用の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: ゴム保護手袋
眼の保護具	: 安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣
適切な衛生対策	: 取り扱い後は手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

## 【9.物理的及び化学的性質】

## 物理的状態

形状 : 粉体

色 : 赤色

臭い : 無臭

pH : 測定不可

## 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし

融点(流動点) : 115~121°C(フローテストによる軟化点)

分解温度 : データなし

引火点 : 該当しない

発火点 : データなし

## 爆発特性

爆発限界 : 上限: データなし 下限: データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

密度 : 1.2 g/mL (20°C)

## 溶解性

水溶解性 : 不溶

溶媒溶解性 : トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランに一部溶解

オクタノール/水分配係数 : データなし

分解温度 : データなし

粘度 : データなし

## 【10.安定性及び反応性】

安定性 : 通常の使用では安定

反応性 : 通常の使用では安定

避けるべき条件 : 情報なし

避けるべき材料 : 情報なし

危険有害な分解生成物 : 情報なし

その他 : 情報なし

## 【11.有害性情報】

急性毒性〔経口〕	: 経口ラット LD <sub>50</sub> 2,000mg/kg以上 <sup>1)</sup>
(経皮)	: 情報なし
(吸入)	: 情報なし
皮膚腐食性・刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性または皮膚感作性	: 情報なし
慢性毒性・長期毒性	: 呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露の関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。 <sup>3)</sup>
生殖細胞変異原生	: Ames試験 陰性 <sup>2)</sup>
発がん性	: 二酸化チタンはIARCの発がん性分類で、グループ2Bに分類される。 動物実験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷(オーバーロード現象)によるもので、本製品の通常使用時にはありえないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査では認められなかった。 <sup>3)</sup>
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし
その他	: 情報なし

## 【12.環境影響情報】

生態毒性	: 情報なし
急性毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
他の有害影響	: 情報なし
環境基準	: 情報なし

## 【13.廃棄上の注意】

「7.取り扱い及び保管上の注意」の章参照。  
適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の  
廃棄物処理業者に委託処理する。

## 【14.輸送上の注意】

国際規則	: 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類	: 非該当
国内規制	: 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法で定められている運送方法に従う。
特別の安全対策	: 容器の破損、漏れが無いことを確かめる。 荷崩れ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

## 【15.適用法令】

化審法	: 特定化学物質、監視化学物質に該当しない
労安法: 第57条の2通知対象物	: シリカ、酸化アルミニウム、すす及びその化合物(0.1-1%) Sn換算<0.1% 二酸化チタン<1%
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 指定可燃物(合成樹脂類) ただし、3000kg以上
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
火薬類取締法	: 該当しない
高圧ガス保安法	: 該当しない
化学物質管理促進法	: 該当しない

## 【16.その他】

記載内容は現時点で入手した資料・情報データに基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価は必ずしも  
十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。

なお、注意事項等については、通常の手続きを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には、  
更に、用途・用法に適した安全対策を実施の上、御使用下さい。

## 引用文献

- 財団法人食品薬品安全センター秦野研究所での測定結果  
ラット雌、3匹/群、投与後30分、1、2、3、4、5、6時間及び以後毎日14日間観察
- 財団法人食品薬品安全センター秦野研究所での測定結果  
使用菌株:(ネズミチフス菌)TA100、TA1535、TA98、TA1537(大腸菌)WP2 uvrA
- NIOSH CURRENT INTELLIGENCE BULLETIN :Evaluation of Health Hazard and Recommendation for Occupational  
Exposure to Tiatnium Dioxide : DRAFT  
(NIOSH 二酸化チタンの健康有害性評価と作業環境濃度の提案:2005年11月22日 DRAFT版)